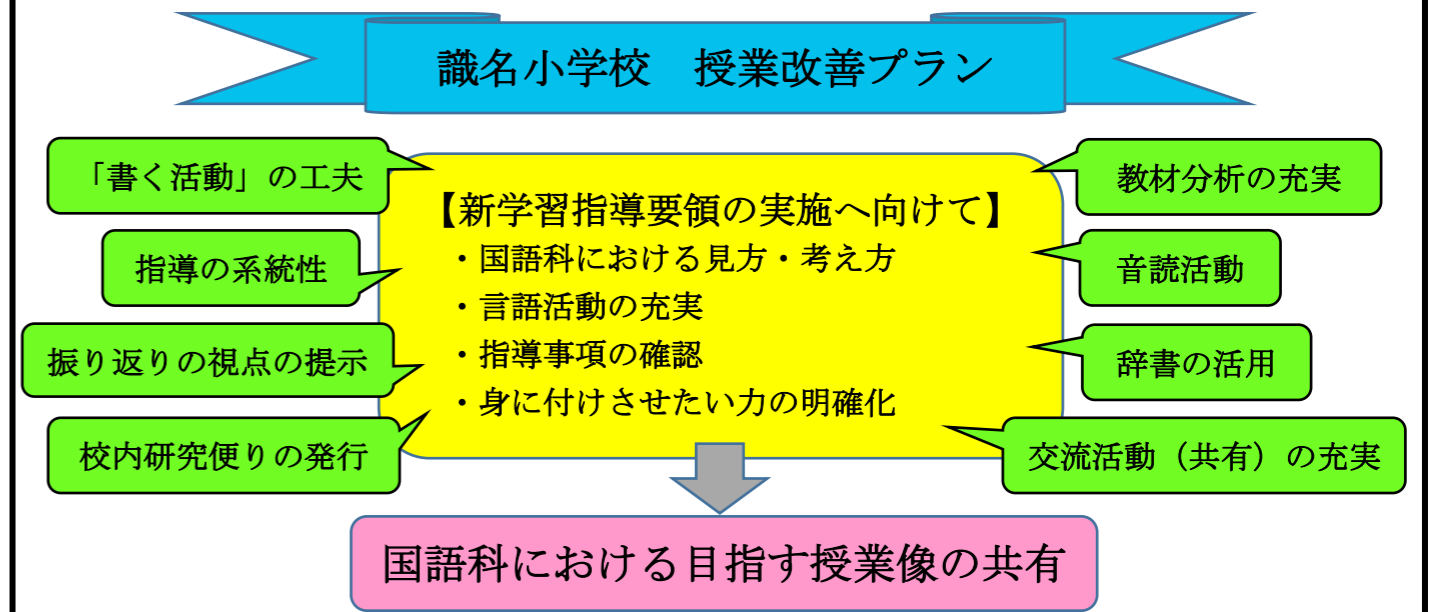


研修成果の活用レポート

<p>所属名・氏名・修了した研修名 那覇市立識名小学校 長元 智 平成30年度第2回次世代リーダー育成研修</p>	<p>応募部門名 校内研修プログラム開発・実践部門</p>
<p>活動名: 識名小 授業改善プラン ～国語科における目指す授業像の共有～</p>	
<p>解決すべき課題: 新学習指導要領において育成を目指す資質・能力や国語科における「言葉による見方・考え方」などをふまえ、児童一人一人に身に付けさせたい力を明確にした授業改善の共有を図るための校内研究の推進をする必要がある。</p>	
<p>目標・方針: ○「書く活動」を中心とした言語活動において、身に付けさせたい力を明確にした授業改善に取り組むことにより、思考力・判断力・表現力の育成および国語科における目指す授業像の共有を図ることができるであろう。 ○新学習指導要領完全実施を見据えた移行期間における取り組みにおいて、国語科における「指導の系統性」を意識した学習活動の工夫を行うことにより、目指す授業像の共有を図ることができるであろう。 ○概念化シートによる分析や授業研究会及び教材分析においてワークショップ型研修を取り入れることにより、教職員一人一人の学校運営への参画意識や自主性、資質・能力の向上へとつながるであろう。</p>	
<p>活動内容: 【実態把握】 ○児童の実態を教職員全体で把握・共有するため、「概念化シート」をもとに学習面・生活面における成果・良さ、課題・改善点について分析を行った。 【校内研究】 ○校内研究において、国語科における授業改善を3年間継続して取り組みを行っている。 ○研究授業の前に授業学年だけでなく全体で教材分析を行い、教材の持つ特性や指導事項をもとに身に付けさせたい力を明確にしたうえでの授業作り及び授業参観を行った。 ○全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果から得られた書く力や語彙量の不足の課題を受け、日々の授業改善へとつなげていった。 ○校内研修におけるワークショップ型研修の充実を図った。 ○めあてとまとめの正対・振り返りの取り組みの充実を図った。(石田中学校との小中一貫教育の推進)</p>	
<p>活動の成果: ○指導事項をもとに身に付けたい力を明確にした授業づくりに取り組むことができ、目指す授業像の共有を図ることができた。 ○学年主任のリーダーシップ、ミドルリーダーの役割の明確化、若い先生方の学びへの意欲的な姿勢がみられる等、「チーム識名」として学校全体で研究活動に取り組むことができた。 ○授業研究会における教師一人一人の発言の質の高さがみられるようになった。 ○児童アンケートの結果からは、国語の学習への意欲の高まりや学ぶことの意義を捉える児童の姿が見られるようになってきた。 ○全国学力・学習状況調査(令和元年度)の結果において、全国平均を上回ることができた。</p>	
<p>アピールポイント(アイデアや工夫): ○概念化シートの活用による児童の実態把握と共有化を図ることができた。 ○授業前の教材分析による身に付けたい力の明確化と指導の系統性の確認による目指す授業像の共有を図ることができた。 ○研究授業実践直後に児童へ直接思考場面についてのインタビューを行うことにより、思考力・判断力・表現力の育成における手立てとすることができた。 ○経験年数や学年を飛び越えて、互いに学び合う職員の風土が醸成された。</p>	

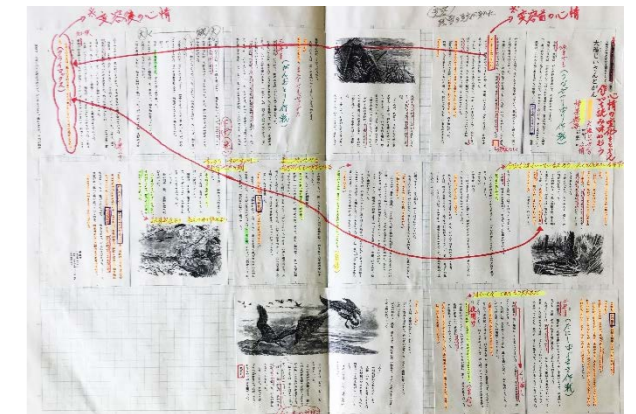
【図1】活動プラン



【写真1】概念化シートによる分析



【写真2】教材分析の実際



【写真3】語彙の充実を目指した校内の掲示物



【表1】振り返りの視点

～ 振り返りの視点 ～

- ① ○○が分かった。(分からなかった)
- ② ○○ができるようになった。
- ③ ○○に気付くことができた。
- ④ ○○することがわかった。
- ⑤ ○○することができるようになった。
- ⑥ ○○な考え方もあることが分かった。
- ⑦ Aさんはなぜ、こう考えたのかな。
- ⑧ ○○でもできるかやってみよう。
- ⑨ もっと○○について考えてみたい。
- ⑩ もし○○だったらどうなるのかな。

【沖縄県「問い」が生まれる授業サポートガイド参照】